

有機農業の推進

【令和3年度予算額 2,603 (2,604) 百万円の内数】
【令和2年度第3次補正予算額 82百万円の内数】

<対策のポイント>

有機農業は、農業の自然循環機能を大きく増進させ、環境負荷を大きく低減するものであるとともに、その農産物の付加価値を高め有利販売につなげることができる取組であることから、その面的拡大に向けた取組を支援します。

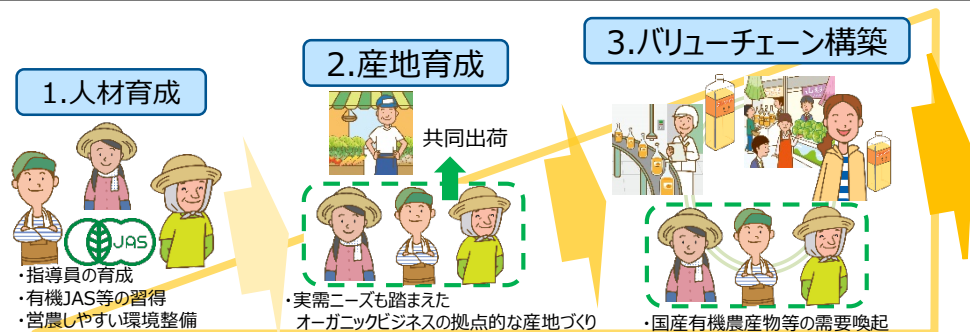
持続的生産強化対策事業のうち

1 有機農業推進総合対策事業

153 (153) 百万円

我が国における国際水準の有機農業の取組を推進するため、

- ① 有機農業指導員の育成
- ② 新たに有機農業に取り組む農業者の技術習得等による人材育成
- ③ オーガニックビジネスの拠点的な産地づくりによる安定供給体制の構築
- ④ 国産有機農産物等の流通、加工、小売等の事業者と連携した需要喚起等を支援。



(関連事業) 強い農業・担い手づくり総合支援交付金

産地基幹施設等支援タイプにおいて優先枠を設定。

スマート農業技術の開発・実証プロジェクト【令和2年度第3次補正予算】

作物を認識し雑草のみを除草できる有機栽培向け小型除草ロボット等の開発を支援

グローバル産地づくり緊急対策事業のうち

2 有機JAS認証、GAP認証取得等支援 令和2年度第3次補正82百万円の内数

有機農産物・加工食品等の輸出拡大に向け、農業者等による有機JAS認証の取得、輸出向け商談、商品開発、農業機械リースの取組を支援。

3 環境保全型農業直接支払交付金

2,450 (2,451) 百万円の内数

農業の持続的な発展と農業の有する多面的機能の発揮を図るために、農業生産に由来する環境負荷を軽減するとともに、**地球温暖化防止**や**生物多様性保全**等に効果の高い農業生産活動を支援。

【事業の概要】

化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて**地球温暖化防止**や**生物多様性保全**等に効果の高い営農活動（**有機農業の取組**、カバークロップ（緑肥）の作付等）に取り組む場合に、追加的コストを支援



【対象者】 農業者の組織する団体、一定の条件を満たす農業者等

【支援の対象となる農業者の要件】

- ▶ 主作物について販売することを目的に生産を行っていること
- ▶ 国際水準GAPを実施していること
※ 指導や研修に基づく取組の実践です。認証取得を求めるものではありません。
- ▶ 環境保全型農業の取組を広げる活動（技術向上や理解促進に係る活動等）に取り組むこと

【有機農業の交付単価】 国際水準の有機農業を実施していること

※有機JAS認証取得を求めるものではありません。

- そば等の雑穀・飼料作物以外：12,000円/10a

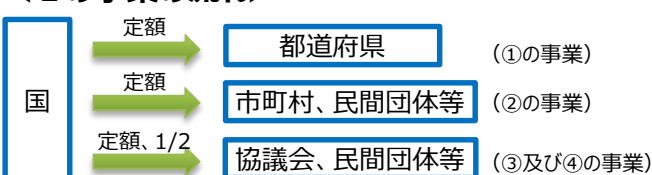
このうち、炭素貯留効果の高い有機農業を実施する場合^注に限り、2,000円を加算。

注）土壌診断を実施するとともに、堆肥の施用、カバークロップ、リビングマルチ、草生栽培のいずれかを実施していただきます。

- そば等の雑穀・飼料作物：3,000円/10a

本制度は予算の範囲内で交付金を交付する仕組みです。申請額の全国合計が予算額を上回った場合、交付金が減額されることがあります。

<1の事業の流れ>



<2の事業の流れ>



<3の事業の流れ>



【お問い合わせ先】 生産局農業環境対策課

1、2の事業：03-6744-2114、3の事業：03-6744-0499

<対策のポイント>

我が国における国際水準の有機農業の取組を推進するため、**有機農業指導員の育成**、新たに有機農業に取り組む農業者の**技術習得等による人材育成**を推進するとともに、実需ニーズも踏まえた**オーガニックビジネスの拠点的な産地づくり**による**有機農産物の安定供給体制の構築**、国産有機農産物等の流通、加工、小売等の**事業者と連携して行う需要喚起**等の取組を支援します。

<事業の内容>

1. 人材育成

- ① 有機農業推進体制整備交付金 【42（45）百万円】
都道府県が、**有機JAS制度等**について**農業者に指導・助言を行う人材**（有機農業指導員）を**育成**する取組等を支援します。
- ② 有機農業新規参入者技術習得等支援事業 【21（23）百万円】
ア 新たに有機農業に取り組む農業者に対し、**有機JASの制度や技術的基準に関する研修や初回のは場実地検査**（有機JAS認証検査）を受講・受検する取組を支援します。
イ 新たに有機農業に取り組む農業者が**営農しやすい環境を整備**するため、市町村等が、**複数の耕作放棄地等をまとめて有機JASほ場に転換**する試行的取組を支援します。

2. 産地育成

- 有機農産物安定供給体制構築事業 【80（75）百万円】
実需ニーズも踏まえた**オーガニックビジネスの拠点的な産地づくり**を推進するため、**技術研修会の開催、販路確保に向けた取組、生産・出荷拡大に必要な機械のリース導入等を支援**するとともに、**農業者等と実需者とのマッチング、雑草対策や流通の効率化などの技術課題の実証、産地や自治体間の連携を促す取組**を支援し、有機農産物の安定供給体制の構築を推進します。

3. バリューチェーン構築

- 国産有機農産物等バリューチェーン構築推進事業 【11（10）百万円】
国産有機農産物等のバリューチェーンに関わる**流通、加工、小売等の事業者と連携して行う、国産有機農産物等の消費者需要及び加工需要を喚起し、事業者間のマッチングを促進**する取組を支援します。

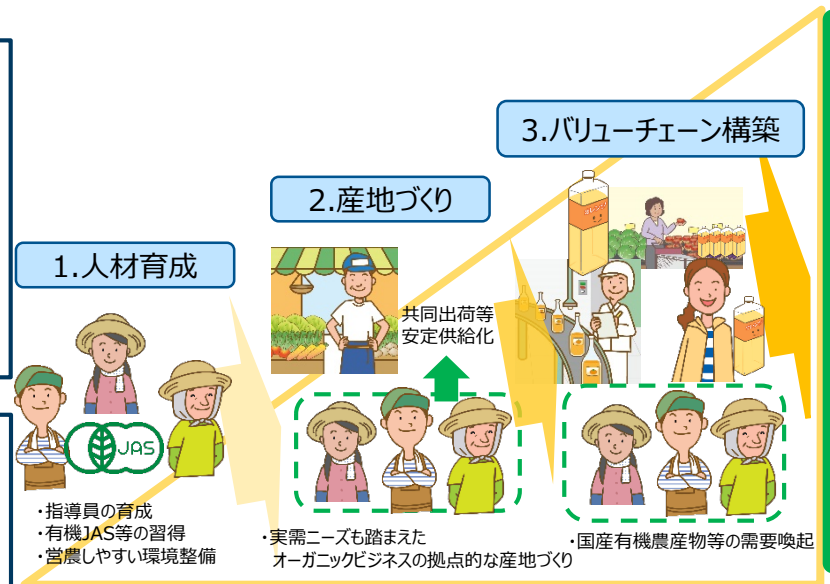
（関連事業）強い農業・担い手づくり総合支援交付金

産地基幹施設等支援タイプにおいて有機農業の優先枠を設定。

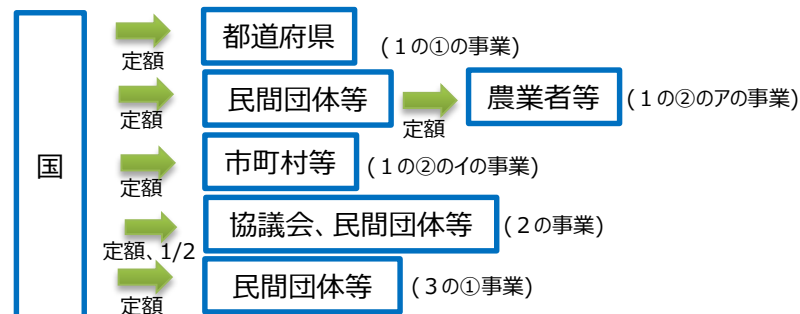
スマート農業技術の開発・実証プロジェクト【令和2年度第3次補正予算】

作物を認識し雑草のみを除草できる有機栽培向け小型除草ロボット等の開発を支援

<事業イメージ>



有機農業の取組拡大へ



【お問い合わせ先】生産局農業環境対策課（03-6744-2114）

<対策のポイント>

国際水準の有機農業に取り組む農業者の指導体制を整備するため、都道府県が、**有機JAS制度等**について**農業者に指導・助言を行う人材（有機農業指導員）を育成する取組等**を支援します。

<事業の内容>

○ 有機農業推進体制整備交付金

都道府県が、**有機JAS制度等**について農業者に**指導・助言を行う人材を育成**する取組及び国際水準の有機農業の普及活動等を支援します。

① 有機農業指導員の育成

有機JAS制度等について農業者に指導・助言を行う人材（有機農業指導員）を育成するため、**講習会の受講や認証検査ほ場での現地研修**を支援します。

② 国際水準有機農業の普及

有機農業指導員が、**農業者向け説明会の開催や農業者に現地指導**を行う取組、**有機JAS認証取得の手引きの作成等**の取組を支援します。

<事業イメージ>

有機農業推進上の課題

- 農業者が国際水準の有機農業を始める場合や、有機JAS認証を取得する際に相談できる機関が存在しない地域が多い。
- 有機JASの登録認証機関の現地調査では、初歩的な書類の不備などで確認作業に手間が掛かり、認証費用高騰の要因にも。

・必要な情報が記録されていません。
・この資材は有機JASでは使えませんよ。

有機JAS検査員

有機農業って大変で、認証を取るのにもお金がかかるし、もうやめようかな・・・。



今後の対応

- ・使用資材は、この欄に整理してください！
- ・ほ場の北側は緩衝帯を今以上に十分確保しましょう！
- ・この資材は有機JASでは使えないんですよ。土づくりの工程を見直しましょうか？

農業者への
指導・助言

都道府県有機農業
指導員

この資材は有機JASでは使えなかったんだ。
事前に相談してよかったあ。



- ・使用資材の書類はしっかり保存・整理しておいてくださいね！

検査時間の短縮

有機JAS検査員

認証されれば、Aさんと一緒にスーパーに出荷できるぞ！



申請手続きの負担軽減

<事業の流れ>



交付
定額

都道府県

効率的な有機農業者の育成・有機JAS認証取得が可能に

<対策のポイント>

新たに有機農業に取り組む農業者が、国際水準の有機農業に関する技術的基準等を習得するため、**有機JASに関する研修や初回のほ場実地検査（有機JAS認証検査）**を受講・受検する取組を支援します。

また、これらの者が営農しやすい環境を整備するため、市町村等が、**複数の耕作放棄地等をまとめて有機JASほ場に転換する試行的取組**を支援します。

<事業の内容>

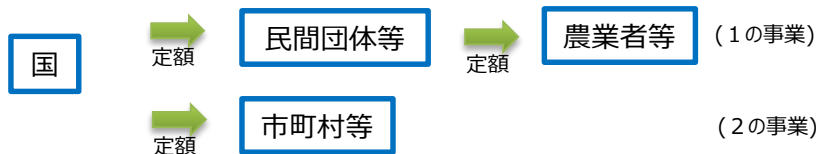
1. 有機農業新規参入者技術習得支援事業

新たに有機農業に取り組む農業者の有機JAS認証の早期取得を促すため、**有機JASの制度や技術的基準に関する研修や初回のほ場実地検査（有機JAS認証検査）**を受講・受検する取組を支援します。

2. 有機農地集約化試行支援事業

新たに有機農業に取り組む農業者が営農しやすい環境を整備するため、市町村等が、**複数の耕作放棄地等をまとめて有機的ほ場管理を行い、有機JASほ場に転換する試行的取組**を支援します。

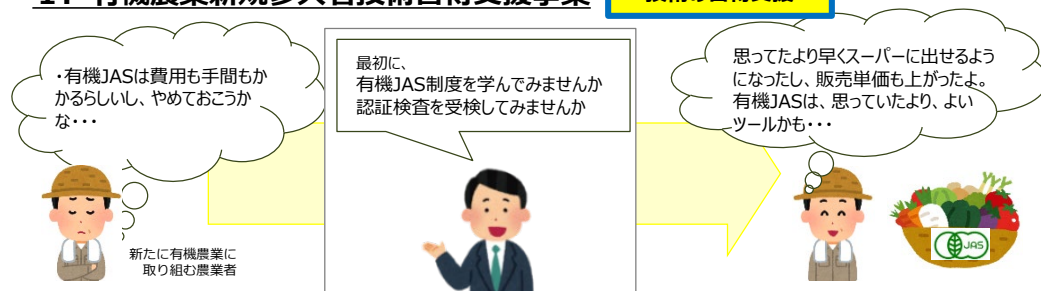
<事業の流れ>



<事業イメージ>

1. 有機農業新規参入者技術習得支援事業

技術の習得支援



2. 有機農地集約化試行支援事業

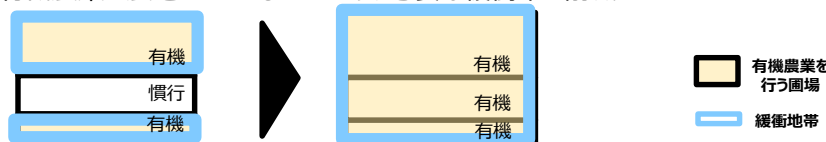
農地の確保に向けた支援

複数の耕作放棄地等をまとめて、有機JASほ場に転換する取組を支援

イメージ1 耕作放棄地を有機JASほ場に転換することで、地域の再生に！



イメージ2 有機農業の農地をまとめることにより、必要な緩衝帯を削減。



<対策のポイント>

実需ニーズも踏まえたオーガニックビジネスの拠点的な産地づくりを推進するため、技術研修会の開催、販路確保に向けた取組、生産・出荷拡大に必要な機械のリース導入等を支援するとともに、農業者等と実需者とのマッチング、雑草対策や流通の効率化などの技術課題の実証、産地や自治体間の連携を促す取組を支援し、有機農産物の安定供給体制の構築を推進します。

<事業の内容>

1.オーガニックビジネス実践拠点づくり事業

実需ニーズも踏まえたオーガニックビジネスの拠点的な産地づくりのため、

- ① 栽培や経営に関する技術研修会の開催等
- ② 産地への実需者の招へいや学校給食関係者との打合せ等を含む新たな販路確保に向けた取組
- ③ 生産・出荷拡大に必要な機械のリース導入等を支援します。

2.全国推進事業

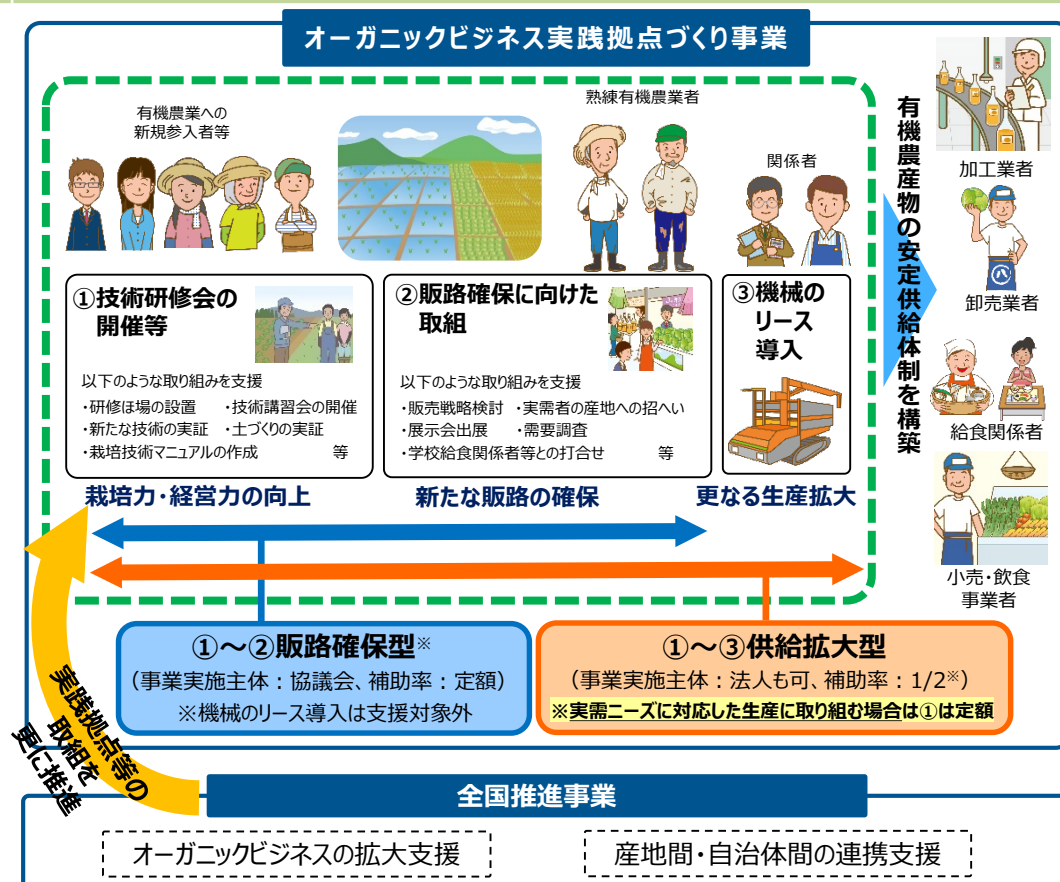
以下の取組を支援し、オーガニックビジネスの拠点的な産地づくりを更に推進

- ① オーガニックビジネス拡大支援事業
販売戦略を企画・提案するオーガニックプロデューサーの派遣や、実践拠点の農業者等と実需者との円滑なマッチングを促す取組を支援します。
- ② 産地間・自治体間連携支援事業
雑草対策や流通の効率化などの生産・流通技術課題への対応実証及び産地や自治体間の連携を促す取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



持続的生産強化対策事業（有機農業推進総合対策事業）のうち
国産有機農産物等バリューチェーン構築推進事業

【令和3年度予算額 11（10）百万円】

<対策のポイント>

国産有機農産物等に関わる新たな市場を創出していくため、これらを取り扱う**流通、加工、小売等の事業者と連携**して行う、**国産有機農産物等の消費者需要及び加工需要を喚起し、事業者間のマッチングを促進**する取組を支援します。

<事業の内容>

1. 国産有機サポーターズ活動推進事業

国産の有機食品に対する消費者のニーズを喚起するため、国産有機農産物等を取り扱う小売等の事業者（国産有機サポーターズ）と連携して行う、**取組事例集作成やワークショップの開催**などの取組を支援します。

2. 国産有機加工食品バリューチェーン構築推進事業

国産有機農産物の加工需要を拡げるため、**有機加工食品のJAS規格の説明や加工・小分け等の事例を紹介する講習会の開催や事業者間のマッチングを促進する取組**などを支援します。

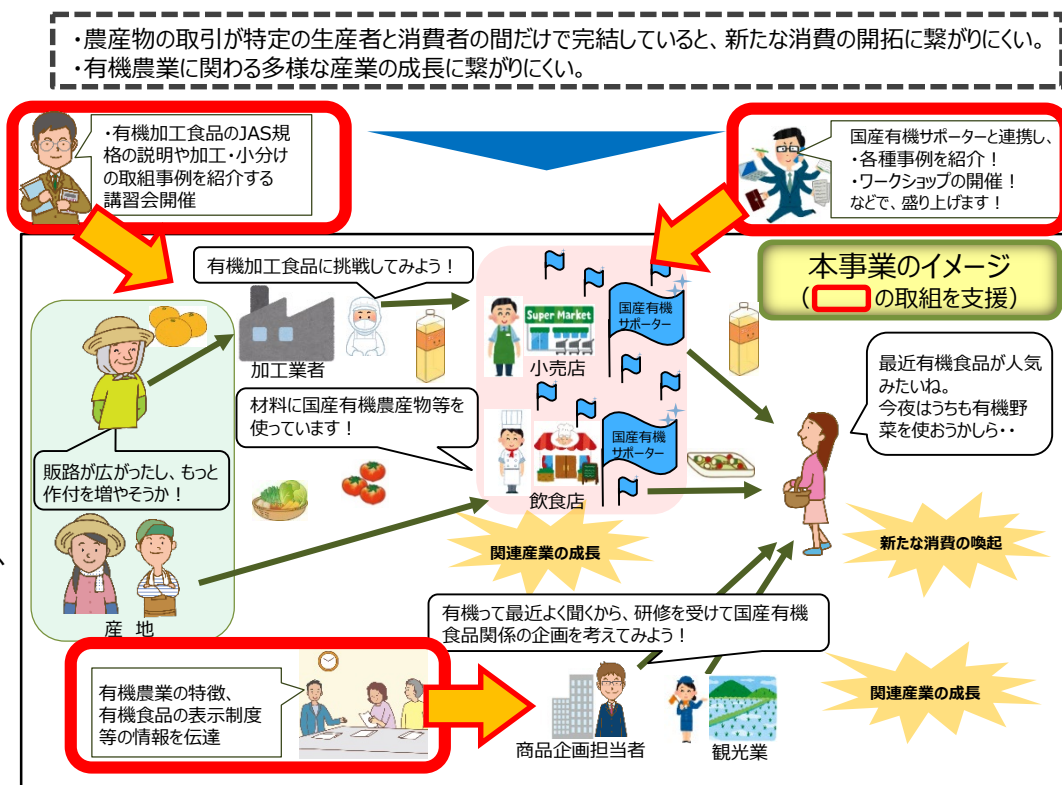
3. 実需者等理解増進活動支援事業

事業者からの情報発信を通じ有機農業に対する消費者等の理解を促すため、有機農業や有機食品に関わる多様な民間事業者に対し、**有機農業や表示制度等の研修等**を行う取組を支援します。

<事業の流れ>



<事業イメージ>



・国産有機農産物等扱う事業者の取組喚起と理解増進
・消費者需要や加工需要の増大

【お問い合わせ先】生産局農業環境対策課（03-6744-2114）

＜対策のポイント＞

国際的に市場規模・取引量が拡大している中、輸出の機会を逸さないよう**有機JAS認証及びGAP認証の取得や商談の実施等を支援**します。

＜政策目標＞

- 農林水産物・食品の輸出額の拡大（9,121億円〔令和元年〕→5兆円〔令和12年まで〕）

＜事業の内容＞

＜事業イメージ＞

1. 国際認証取得等支援事業

① 有機JAS認証取得等支援

有機農畜産物・加工品等の輸出拡大に向け、**農業者等による有機JAS認証の取得や、輸出向け商談、商品開発、有機以外の農産物等の混入防止に必要な農業機械リース等の取組**を支援します。

② GAP認証取得等支援

農産物の輸出拡大に向け、**農業者等によるGAP認証（GLOBALG.A.P.、ASIAGAP）の取得や、輸出向け商談、認証取得に必要な農業機械リース等の取組**を支援します。

1. 国際認証取得等支援事業



2. GAP認証審査体制強化支援事業

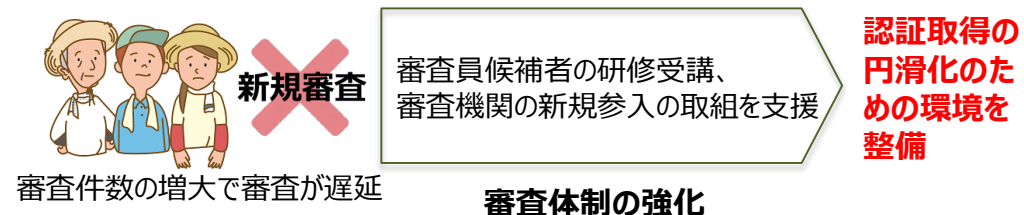
① GAP認証審査員育成支援

GAP認証取得拡大のボトルネックとなっているGAP認証審査員の確保に向け、**審査員候補者の研修受講**を支援

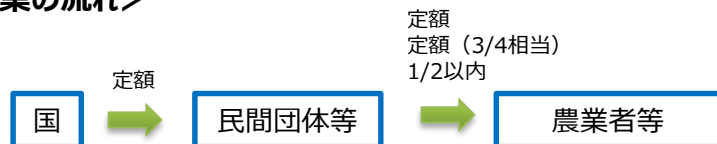
② GAP認証審査機関新規参入支援

GAP認証審査体制の強化に向けて、審査機関として参入を目指す事業者の**認定審査の受審**を支援

2. GAP認証審査体制強化支援事業



＜事業の流れ＞



【お問い合わせ先】 生産局農業環境対策課

有機農業推進班 (03-6744-2114)

GAP推進グループ (03-6744-7188)